



多摩川水系 平瀬川・平瀬川支川・二ヶ領本川・五反田川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)

凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 0.0~0.5m未満の区間
- 0.5~3.0m未満の区間

--- 市区町村境界

浸水想定区間の指定の対象となる水位情報周知河川

準用河川

1 説明文

(1) この図は、多摩川水系平瀬川・平瀬川支川・二ヶ領本川・五反田川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。五反田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/30 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30 (3.3%)) の降雨に伴う洪水により平瀬川・平瀬川支川・二ヶ領本川・五反田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、多摩川本川の決壊による氾濫、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 神奈川県
 (2) 公表年月日 平成30年1月26日
 (3) 告示番号 平瀬川 神奈川県告示第38号
 平瀬川支川 神奈川県告示第39号
 二ヶ領本川 神奈川県告示第40号
 五反田川 神奈川県告示第41号

(4) 根拠法令 水防法 (昭和24年法律第193号) 第14条第2項
 (5) 対象となる河川

| |
|---|
| 多摩川水系 平瀬川 (実施区間: 左岸: 川崎市宮前区水沢3丁目 2,913番地先無名橋から多摩川合流点まで 右岸: 川崎市宮前区水沢3丁目 2,902の6地先無名橋から多摩川合流点まで) |
| 多摩川水系 平瀬川支川 (実施区間: 左岸: 川崎市多摩区長沢4丁目 8,238番地先市道橋から平瀬川合流点まで 右岸: 川崎市多摩区長沢4丁目 8,156番地先市道橋から平瀬川合流点まで) |
| 多摩川水系 二ヶ領本川 (実施区間: 左岸: 川崎市多摩区中野島2丁目 282番地先橋本橋から平瀬川合流点まで 右岸: 川崎市多摩区生田2丁目 576番地先橋本橋から平瀬川合流点まで) |
| 多摩川水系 五反田川 (実施区間: 左岸: 川崎市多摩区生田8丁目 3,395番地先田中橋から二ヶ領本川合流点まで 右岸: 川崎市多摩区生田8丁目 3,207番地先田中橋から二ヶ領本川合流点まで) |

(6) 算出の前提となる降雨 平瀬川流域の1時間最大雨量 90mm
 (7) 関係市区 川崎市多摩区、宮前区、高津区、中原区
 (8) その他計算条件等

① この図は多摩川水系平瀬川・平瀬川支川・二ヶ領本川・五反田川で溢水、破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、対象河川以外の準用河川等が溢水、破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 ② この図は、多摩川水系平瀬川・平瀬川支川・二ヶ領本川・五反田川において、危険となる水位に達した時点で破堤、堤防のある区間において浸水及び堤防のない区間においては溢水したときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 ③ 氾濫計算は、対象区間を2m×2m格子 (計算メッシュ) に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量に基づく5mメッシュを基に平均地盤高を算定したものを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1256号)